

令和5年度 援農ボランティアツアー



弘前市農林部農政課

1 ツアーの概要・経緯

2 ツアー内容

3 関係者からの声

4 今後の方針

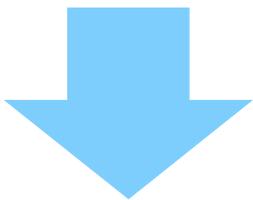
1 ツアーの概要・経緯

ニッカウヰスキー(株)

- ・令和2年度～援農ボランティアを実施
- ・りんごを原料とする「ニッカシードル*」を製造

アサヒビール(株)

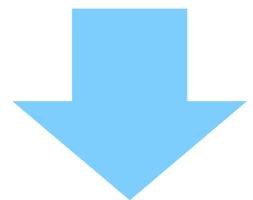
- ・令和4年度～援農ボランティアを実施
- ・「ニッカシードル*」の販売を担っている



弘前市

- ・両企業より企業版ふるさと納税各500万円（計1,000万円）
- ・りんご産業の活性化に向けた事業展開を希望

- ・補助労働力不足解消の一助
- ・りんご、シードルのファン拡大
- ・観光誘客、関係人口の増加



(株) J T B

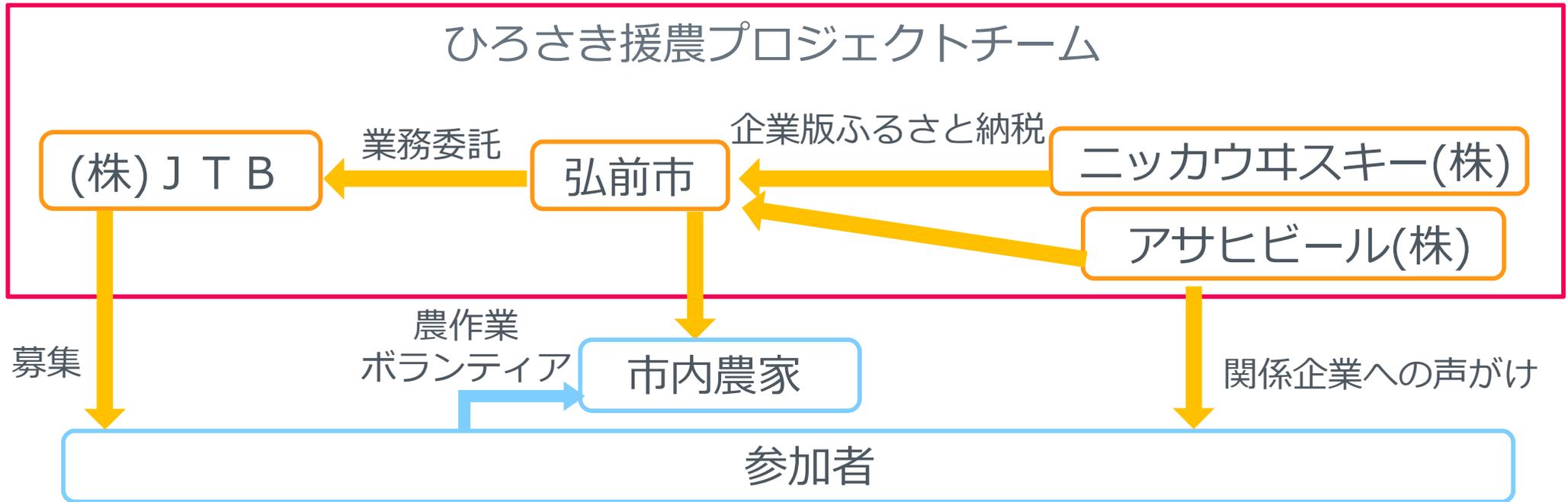
旅行代理店への業務委託

「農業・観光連携りんご産業活性化事業」
= 援農ボランティアツアーの企画・実施

*現在の名称は「ニッカ弘前生シードル」

1 ツアーの概要・経緯

■ 企画・運営



■ 概要

開催時期：令和5年10月～11月のうち5日間

参加者：全国から282名

主な作業：りんごの収穫

作業時間：9：00～15：30

受入農家：29名（受入2～10名）

2 ツアー内容

行程 (A M)

集合

08:00~

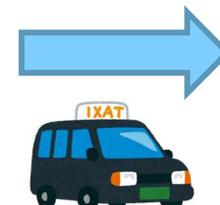
弘前駅集合
→グループ分け
→タクシーで各中継拠点へ



準備

08:30~

中継拠点でオリエンテーション
→備品配布
(雨合羽、長靴、手袋、タオル)
→受入農家と合流し、
タクシーで園地へ移動



作業

09:00~

収穫作業



2 ツアー内容

行程 (P M)

昼休憩

12:00~

タクシーで園地から拠点へ
→拠点で昼食 (弁当配布)
→拠点から園地へ移動



作業

13:00~

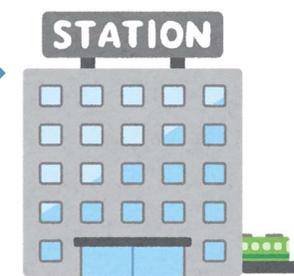
収穫作業



解散

15:30~

タクシーで園地から拠点へ
→備品返却
→解散式
→拠点から弘前駅へ



2 ツアー内容

■ 特徴

移動の手配

市内移動は全てタクシー
(全額事業費で負担)

農家負担軽減

備品等の準備

- ・ 雨合羽 (貸与)
- ・ 長靴 (貸与)
- ・ 今治タオル
- ・ 手袋
- ・ 昼食 (弁当)
- ・ シードル (お土産)

宿泊補助

補助：1泊/3,000円
※お1人様2泊まで適用
先着100泊まで

弘前滞在延伸



津軽旬彩御膳弁当〈並〉(お茶付き)

1,300円(税込)

- ・ホタテ照焼
- ・豚バラ焼き(青森県産りんご・玉ねぎ・ニンニクの自家製タレ)
- ・白身魚磯部揚げ
- ・焼き蒟
- ・津軽料理産認定料理 人参の子和え
- ・里芋煮
- ・ブロッコリー
- ・酢レンコン
- ・青森県産りんごのコンポート
- ・桜大根
- ・ご飯(青森県産米「まっしぐら」)
- ・お茶

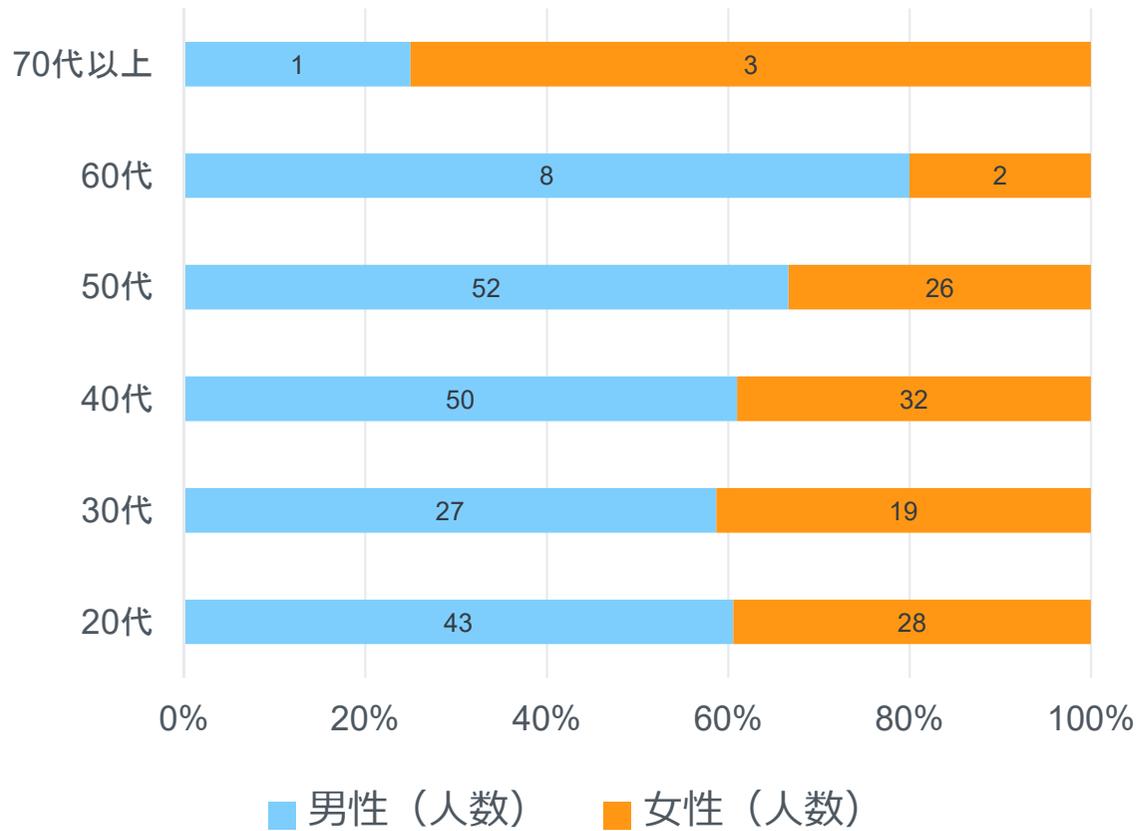


弁当箱サイズ:約(19.5×12×4)cm
※お料理の下にご飯が入っています

3 関係者からの声

参加者の属性

■ 年代別・性別

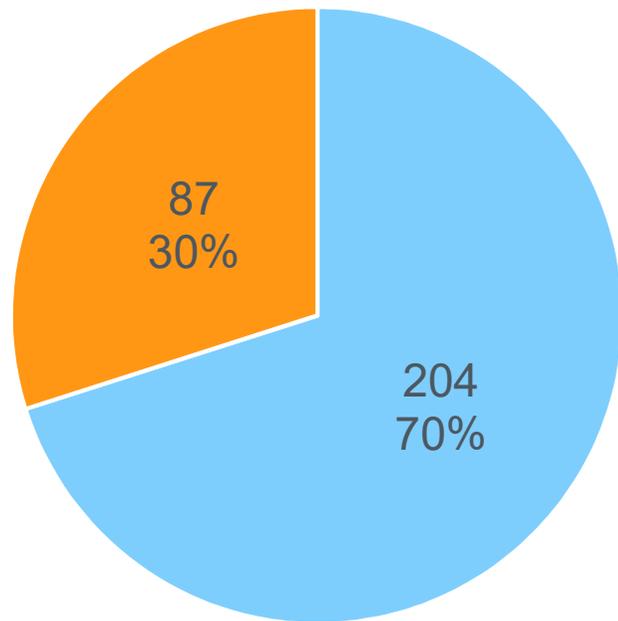


性別	男性 (人数)	女性 (人数)	男性 (比率)	女性 (比率)
20代	43	28	60.6%	39.4%
30代	27	19	58.7%	41.3%
40代	50	32	61.0%	39.0%
50代	52	26	66.7%	33.3%
60代	8	2	80.0%	20.0%
70代以上	1	3	25.0%	75.0%
合計	181	110	62.2%	37.8%

3 関係者からの声

参加者の属性

■ 居住地別



■ 青森県外 ■ 青森県内

青森県外 (例：東京都など)	204
青森県内	87

■ 職業別

民間企業 (りんご関連産業)	26
民間企業 (りんご関連産業以外)	220
公務員	3
イベント制作会社	1
小売業	1
メーカー勤務	1
NPO	1
会社員	6
マスコミ	1
自営業	1
非常勤	1
パート・アルバイト	9
専業主婦・専業主夫	7
学生	9
無職	2
回答しない	2

3 関係者からの声

■ 参加者の声

- ・ 収穫の大変さを感じ、貴重な経験ができた。
- ・ 農園の皆さんが親切で楽しく作業できた。
ご縁を大事にしたい。
- ・ りんごだけでなく、弘前や青森への親しみや興味が湧いた。
- ・ 農家さんともっと交流したい。
- ・ また参加したい、事業を継続させてほしい。
- ・ 1日のお手伝いではお役に立てなかった気がする。2日間でもいいと思う。
- ・ 雨が降り、寒かった。
- ・ 温泉にも入りたい。



3 関係者からの声



■ 受入農家の声

- 積極的に働いてくれて助かった。
- りんごのことを知ってもらえて良かった。
- 他県、他産業の人と関わることでいい刺激になった。
- 弘前りんごをPRできる良い事業だと思う。
- 援農ボランティアを継続させてほしい。
- 雨天時が心配。
- 未経験者に教えるのが大変。

4 今後の方針

令和6年度の実施に向けて

■ 滞在プランの充実化

- ・ 農作業後の温泉
- ・ 1泊2日以上のコース 等

■ 交流機会の創出

- ・ 受入農家と参加者を交えての懇親会 等

弘前りんごのファンを獲得し、農業と観光の

両面からりんご産業の活性化を目指します